

若手研究者による報告

# 『人的資本の経済・社会効果』

2024.

2.20 TUE.

14:00 ▶ 16:00

主催

公益財団法人アジア成長研究所  
(北九州市小倉北区大手町11-4 ムーブ6階)

【参加料】無料

講師

Variya KUNAPASUT (ワリヤ・クナパスツ) 氏

立命館大学 アジア・日本研究所 専門研究員

『Educational Attainment and Wage Inequality in Thailand: A Quantile Regression Analysis from 2009 to 2018』

講演概要:裏面をご覧ください。

講師紹介:2023年に大阪大学経済学研究科を卒業後、立命館大学アジア・日本研究所(AJI)でシニアリサーチャーとして勤務開始。博士課程時代は発展途上国、特にタイの所得不平等や、国際貿易、貿易自由化、賃金格差について研究を行った。近年は男女不平等、教育、人口政策に関心を持つ。

【第1部】

14:00-15:00

(終盤15分は質疑応答)



杜 雨軒 (ト・ウケン(DU, Yuxuan)) 氏

中国 清華大学 アシスタント・リサーチャー

『学術型の経営幹部はより積極的にESGに取り組むか:経営陣の学術的経験と企業のESGパフォーマンスに関する研究』

講演概要:裏面をご覧ください。

講師紹介:清華大学経済管理学院アシスタント・リサーチャー、東北大学大学院経済学研究科客員研究員。東北大学から博士号(経営学)を取得、同大学の博士研究員を経て2022年4月より現職。ESG、エシカル消費、デジタル・マーケティングなど多分野にわたって定性及び定量の両面から研究を行い、最近5年間で日英中3カ国語の学術ジャーナルに20以上の論文を発表した。

【第2部】

15:00-16:00

(終盤15分は質疑応答)



司会:Hang Thu NGUYEN-Phung (グエン・フン・トゥ・ハン) AGI上級研究員



オンライン(ZOOM)で開催いたします。

※インターネット環境とPCやスマートフォン、タブレットが必要です。

【お申し込み】① 電子申込:<https://forms.gle/1UvdQDSoSmszDbSSK9>

② メール申込:メールにて、氏名・所属・電話番号を[office@agi.or.jp](mailto:office@agi.or.jp)へ送信してください。

①②とも、前日までにご参加用URLをメールでお送りします。(申込〆切:2/19(月))

【お問合せ先】公益財団法人アジア成長研究所(AGI) 担当:谷村 ☎ 093-583-6202 ✉ office@agi.or.jp

※ご記入いただいた個人情報は、当研究所業務に関する情報提供・運営管理に活用させていただき、第三者に提供することはありません。



# ONLINE AGI SEMINAR

## 概要

### 『Educational Attainment and Wage Inequality in Thailand: A Quantile Regression Analysis from 2009 to 2018』

This paper explores the relationship between educational levels and income inequality of people living in the central region of Thailand during 2009 and 2018. We estimate Mincerian wage equations using ordinary least squares and quantile regression. We find that wage distribution in Thailand as a result of educational levels has improved during the period of study. Grouping the population by educational level, it was found that within-group inequality is the largest among university graduates and the largest decrease in the spread is also found among those with university degrees or higher. Similarly, primary school graduates also record the smallest within-groups inequality and the smallest decrease in the spread. The between-groups inequality has also shrunk between university graduates and other educational levels. The improvement in income distribution is mainly caused by the decrease in the wage gap around the middle (q25-q75) of the income quantiles while leaving wage differentials at both ends relatively unchanged.

使用言語: 報告・資料ともに英語

### 『学術型の経営幹部はより積極的にESGに取り組むか: 経営陣の学術的経験と企業のESGパフォーマンスに関する研究』

ESG(環境・社会・企業統治)は、企業の持続的で健全な発展および価値向上を推進するためのコア・コンピタンスの1つとなり、社会経済の長期的な安定と繁栄を実現させる重要な切り口とされている。企業のESGパフォーマンスの向上をいかに促進するかは学界で注目されている重要な課題である。本研究では、経営陣(Top Management Team, TMT)の経験を基に、その学術的経験がESGパフォーマンスに与える具体的な影響や外部ガバナンス(機関投資家の持ち株比率)のモデレート効果を考察した。研究結果として、(1) TMTの学術的経験はESGパフォーマンスに有意な正の影響を与える。また、内生性の問題を考慮した結果でも頑健性が示された。(2) TMTの学術的経験は、ESGに対する有意な正の影響が主に環境と社会のパフォーマンスに現れる一方、企業統治に対する影響は有意ではない。(3) TMTの学術的経験とESGパフォーマンスの関係は外部ガバナンスによってポジティブにモデレートされる。(4) TMTの学術的経験を元に高められたESGは、企業のグリーン・イノベーションのパフォーマンスをさらに高める。本研究は、どのようなTMTの経験がESGにエンパワメント効果をもたらすのかを明確にし、ESGパフォーマンスの向上に向けてTMTの権力構造を改善するための経験的示唆を提供したいと考えている。

使用言語: 報告・資料ともに日本語